

3. 「とっとり子育て親育ちプログラム」の概要

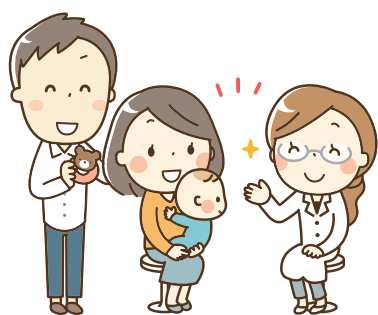
<プログラムのねらい>

家庭教育は全ての教育の出発点であり、基本的な生活習慣や豊かな情操、命の大切さや思いやりの心を育むとともに、社会生活を営むルールやマナーを身に付けさせるなど、子どもの人格形成に大きな役割を担っています。

本プログラムは、妊娠期からスタートし乳幼児期・小学校・中学校の子どもを持つ親の集まり等で、妊娠期の不安や、子育ての悩みや課題を題材に話し合い、楽しい時間を共有することで、親同士のつながりを深め、家庭教育について学び合う仲間づくりを進めるものです。また、企業や地域においても子育て中の家庭を理解し、安心して子育てできる環境づくりを進めてもらうものです。

プログラムをととして、楽しい時間を共有し、互いの思いを共感することで、それぞれが子育てをふりかえったり、家庭教育について考えたりするきっかけとすることがねらいです。

<プログラムの活用場面>



市町村・産婦人科の
両親学級



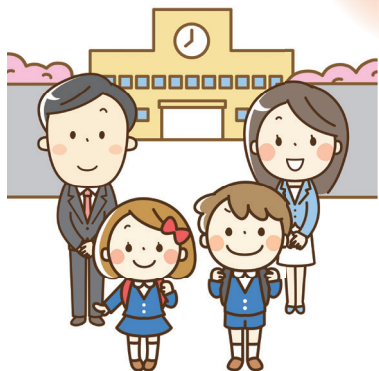
地域の集まり



家庭教育について
みんなで
考えてみよう

PTA 研修会
学級・学年の懇談会

就学時健診
入学説明会



とっとり子育て親育ち プログラム



公民館・
子育て支援センター
乳幼児健診



園・保護者会



企業内研修

I. はじめに

<プログラムの構成>

本プログラムには、身近なものを題材とした全 29 個のワークショップ(※1)が設けられており、その中から一つ選びグループで話し合います。ワークショップごとに進行マニュアル(偶数ページ)とワークシート(奇数ページ)を見開きで用意しています。



ワークシートのみ参加者の人数分コピーして配布してください。

ワークシートは終了後に回収する必要はありませんので、参加者に自由に使ってもらいましょう。

※1 参加者が自ら参加・体験し、グループで意見交換や共同作業を進める参加型学習のことです。

1. 自分自身のふりかえり編			
① みんながって みんないい			
<ねらい> ○家庭や社会の中でいるいろいろな側面をもつ「わたし」という存在に目を向け、「わたしの長所も短所も含めた自分らしさや個性を認める」という自己肯定感を持つとともに、参加者が仲良くつながり楽しさを味わう。			
<準備物> ○ファシリテータ：ワークシート ○参加者：筆記用具			
時間	主な活動	発言	留意点
導入 (10)	1. 学習のねらい 今日は、自己紹介を通して役割や役割ではない「わたし」自分自身に焦点をあてて話し合ってみましょう。その前にちょっとリラックスするために簡単なゲームをしましょう。		
	2. アイスブレイク アイスブレイクの例参照		・4人程度のグループに分ける。
展開 (35)	4. ワークシートに記入する。 (ワーク1)	4. 自分自身のよいところ・得意なこと・趣味・好きなところなどを「長所」の欄に、苦手なことなどを「短所」の欄に記入しましょう。	・堅苦しく考えないで思いついたことを記入すればよいことを伝える。
	5. グループで自己紹介をする。 (ワーク2)	5. ワーク1に書いた長所・短所を用いてグループ内で自己紹介してください。プラスのコメントを一言ずつもらいワーク2に記入しましょう。	
	6. グループで話し合う。 (ワーク3)	6. グループで気づいたこと・感じたことを話し合い、ワーク3に記入しましょう。	
	7. グループごとに発表する。	7. 各グループでどんな意見がでましたか。	・抽出グループでも可。 ・各グループ一つずつ発表してもよい。
まとめ (15)	8. ふりかえり 9. まとめ いかがでしたか、他の人と自分の考えは違っていたと思います。人それぞれ自分の価値観をもって生きています。違いを認め合うことで、より私は私でいいのだと思えたのではないのでしょうか。違いを認め合いながら一緒に生きている。それが社会だと思います。是非、自分を大切にしながら他の人とつながって楽しんでください。	8. このワークをふりかえって、気づいたことをワークシートにまとめてください。	

進行マニュアル

① みんながって みんないい			
今日は、自分のよいところ・得意なこと・趣味・好きなところなど役割や役割ではない「わたし」に目を向けてみましょう。			
ワーク1 自分のよいところ、得意なこと、趣味、好きなところなどを「長所」の欄に、苦手なことなどを「短所」の欄に記入しましょう。			
長所	短所		
自分の考えを書き込むことができます。			
ワーク2 自分の長所又は短所に対するプラスのコメントをグループ内でもらしましょう。			
さん	さん	さん	さん
ワーク3 メンバーのやりとりの中で気づいたことをメモしましょう。			
グループで話し合った内容を書き込むことができます。			
ふりかえり			
 ワークのふりかえりができます。			

ワークシート

<ワークショップの進行>

ワークショップを進行する人をファシリテータ(進行役)と呼びます。アイスブレイク(※2)を通じて参加者の雰囲気や和ませ、アクティビティ(主たる活動)で参加者の思いや気持ちを導き出し、学習の目標を達成することをサポートします。

ワークショップは誰でも進行できるように、シンプルなものにしてありますので、県が養成したファシリテータだけでなく、PTA 役員や園や学校の先生も進行することが可能です。是非、皆さんで御活用ください。

※2 簡単なゲームなどを行うことによって、初めて出会った人たちの緊張を解きほぐす手法です。アイスブレイクを行うことによって、参加者同士が気軽に話しやすい雰囲気をつくることができます。